

共立女子大学家政学部児童学科 夏の保育研修会

主催：共立女子大学家政学部児童学科付設 発達相談・支援センター
共催：子桜会（共立女子大学家政学部児童学科同窓会ネットワーク）

2017年8月6日（日）

10：15～15：40（受付9：45～、10：20よりガイダンス）

共立女子大学 3号館 610教室ほか

プログラム

講演、分科会の詳細は裏面をご覧ください

10:20～ ガイダンス

10:30～12:00 講演

ズバリ！解説！ 新『幼稚園教育要領』

神長 美津子 先生（國學院大學）

12:00～12:50 昼食休憩

12:50～13:30 ミニコンサート

「近藤麻里&加賀ひとみによる～夏の贈り物～」

13:40～15:40 分科会

- A 保育の根っこを考えてみませんか？（その2）ーヨシタケシンスケの絵本を通してー
入江礼子 先生（定員 40人）
- B 保育・教育のユニバーサルデザインを考える
権藤桂子 先生（定員 40人）
- C 病院に入院している子どもたちの保育を知っていますか？
上出香波 先生（定員 40人）
- D 造形のあり方を考える「ダイアログ造形」の展開
安田悟 先生（定員 30人）

参加費 ￥1,000（当日お支払いください）

対象 保育関係者

共立女子大学家政学部児童学科卒業生

申込み方法

下記の内容を記載してE-mailでお申し込みください。

タイトル：8/6研修会参加申込み

本文：①氏名 ②希望分科会（第3希望まで）

③領収書宛名（園名・個人名など） ④卒業年（卒業生のみ）

送信先・お問い合わせ

hattatsu-center@kyoritsu-wu.ac.jp（QRコードはこちら→）

※分科会のご希望に沿えない場合にはご連絡させていただくことがあります



講座内容のご紹介

講演

ズバリ！解説！ 新『幼稚園教育要領』 神長美津子先生（國學院大學）

『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』が2017年度に同時改訂となりました。これからの新しい保育の流れを知り、幼児教育に求められるものは何かをおさえながら、実践につなげていきましょう。何が変わるのか、どうして変わるのか、私たちはどのような実践をしていけばよいのか。

神長先生の解説から学んだことを生かして、新しい保育の構想をしていきたいと思えます。

ミニコンサート

「近藤麻里 & 加賀ひとみによる～夏の贈り物～」

■近藤 麻里（こんどう まり／ピアノ）
東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学、同大学院修了。安宅賞受賞。94年第5回日本モーツァルト音楽コンクール優勝。95年第6回ザルツブルク・モーツァルト国際コンクール第4位。昭和音楽大学/共立女子大学非常勤講師。

■加賀ひとみ（かがひとみ／メゾソプラノ）
東京藝術大学大学院修了。ズボン役からカルメンまで幅広く活躍するメゾソプラノ。2015年に出演した『4音オペラ』は、サントリー芸術財団第16回 佐治敬三賞を受賞。聖徳大学兼任講師。共立女子大学非常勤講師。二期会会員。

分科会

A

保育の根っこを考えてみませんか？（その2）－ヨシタケシンスケの絵本を通して－ 入江 礼子 先生（定員 40人）

私が今はまっている絵本、それはヨシタケシンスケさんの絵本です。はまっているのは私だけではありません。小学校2年生の孫も一緒にはまっています。朝の20分、私たちは掛け合いでヨシタケさんの絵本を読みます。もう1か月以上毎日読んでいます。なんで、こんなにはまったのか？？それを皆さんと一緒に考えてみたいなって思っています。まずは一度ヨシタケさんの絵本を手にとってからいらしてくださいね。

B

保育・教育のユニバーサルデザインを考える 権藤 桂子 先生（定員 40人）

保育・教育の場では、障害のある幼児、児童を含めた全ての子どもたちが楽しく遊び、学ぶことのできるユニバーサルデザインを推進することが求められています。子どもたちにとってわかりやすく意味のある保育・教育の場とはどんなものなのか、具体的なアイデアについて語り合しましょう。

C

病院に入院している子どもたちの保育を知っていますか？ 上出 香波 先生（定員 40人）

入院している子どもたちの保育が実際どのようにおこなわれているのか、医療現場での保育士としての役割や専門性、チーム医療について、あまり知られていない保育の世界を様々な事例や映像などを用いて紹介します。その中で、新生児から児童期、疾患や病状に合わせた遊びや手作りおもちゃの紹介もしていきます。また、病気だけではなく、不適切な養育により入院してくる子どもたちの家族支援についても事例を通して皆さんと一緒に考えたいと思えます。

D

造形のあり方考える「ダイアログ造形」の展開 安田 悟 先生（定員 30人）

今回はテーマを決めながらノンバーバルでの集団造形を試み、グループのなかでお互いの意図や気持ちを汲み取ることで成り立つ造形作品を制作しました。そこでは相手から思わぬ刺激を受けることにもなり、集団ならではの楽しい作品が生まれました。今回は前回と同じ材料と技法を使った活動を行います。まず個の表現に拘りながら作品制作を試みます。その後グループ内で結合させた創作に取り組み、自分の表現が組み合わせの中でどのような意味付けになっていくのか、実験的な作品を目指したいと思います。

※ 当日は3号館学食の営業はありません。昼食は各自ご用意ください。

※ 皆さんお誘いあわせのうえ、ご参加ください。